



題字：湯河原小学校2年（現在3年） 手島由衣さん



令和7年5月

No.134

編集/発行 湯河原町議会

〒259-0392

神奈川県足柄下郡湯河原町中央二丁目2番地1

TEL0465-63-2111(代) FAX0465-63-9674

源頼朝旗挙げ 武者行列

(4月6日(日)開催)



3月
定例会

2/20~3/12

4月
臨時会

4/17

町議会ホームページ



● 主な内容 ●

- 3月定例会 …… 2~4
- 代表質問 …… 5・6
- 一般質問 …… 6~8
- 常任委員会・特別委員会・9・10
- 4月臨時会 …… 11
- 議会報告会 …… 11
- 傍聴のご案内（6月議会日程）・12

3月 定例会



令和7年第1回湯河原町議会3月定例会は、2月20日から3月12日までの21日間（本会議開催4日間）にわたり開催されました。

この定例会では、町側から、条例11件（制定3件、一部改正8件）、補正予算6件、当初予算7件、指定金融機関の指定1件、議会側から条例1件（一部改正1件）、決議1件、合計27件を審議しました。



本会議議案

審議議案と結果

全会一致の議案

議案番号	議案名	結果	議決日
2	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	2/20
3	育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	2/20
4	湯河原町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について	可決	2/20
5	湯河原町職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決	2/20
6	湯河原町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	2/20
7	湯河原町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	2/20
8	湯河原町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について	可決	2/20
9	令和6年度湯河原町一般会計補正予算（第11号）	可決	2/20
10	令和6年度湯河原町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決	2/20
11	令和6年度湯河原町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決	2/20
12	令和6年度湯河原町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	2/20
13	令和6年度湯河原町水道事業会計補正予算（第2号）	可決	2/20
16	令和7年度湯河原町介護保険事業特別会計予算	可決	3/12
17	令和7年度湯河原町後期高齢者医療特別会計予算	可決	3/12
18	令和7年度湯河原町水道事業会計予算	可決	3/12
19	令和7年度湯河原町温泉事業会計予算	可決	3/12
20	令和7年度湯河原町下水道事業会計予算	可決	3/12
21	湯河原町指定金融機関の指定について	可決	3/12
22	湯河原町国民健康保険条例の一部改正について	可決	3/12
23	湯河原町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	可決	3/12
24	湯河原町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可決	3/12
25	令和6年度湯河原町一般会計補正予算（第12号）	可決	3/12
議員提出1	湯河原町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	可決	2/20
決議1	教育・保育の在り方調査特別委員会設置に関する決議	可決	3/12

賛否が分かれた議案と議員ごとの賛否内容

○は賛成、×は反対を表しています。

議員名 議案番号	貴田太史	笠原進	早乙女智子	上田尚彦	熊谷照男	渡辺久子	松野洋一	石井温	善本真人	松井一寿	室伏寿美夫	山本俊明	土屋誠一	結果	議決日
1	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 賛成：11 反対：2	3/12
湯河原町長寿健康祝金贈呈条例の制定について															
14	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 賛成：12 反対：1	3/12
令和7年度湯河原町一般会計予算															
15	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 賛成：12 反対：1	3/12
令和7年度湯河原町国民健康保険事業特別会計予算															

当初予算審査

令和7年度の各会計予算の審査は、予算審査特別委員会に付託されました。

●予算審査特別委員会（3月7日・10日開催）

令和7年度の一般会計、3特別会計及び3公営企業会計予算が付託され、歳入・歳出の内容、事業の目的やその効果等について、質疑応答を行いました。慎重な審査の結果、すべての会計の予算は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

（委員長）石井 温 （副委員長）松井 一寿
（委員）貴田 太史、早乙女智子、松野 洋一、
善本 真人、室伏寿美夫

令和7年度会計別予算額

（単位：千円）

会 計 名	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	比 較		
			増減額 (C)=(A)-(B)	増減率 (C)/(B)×100	
一 般 会 計	10,524,000	9,756,000	768,000	7.87	
特 別 会 計	国民健康保険事業	2,960,000	2,950,000	10,000	0.34
	保険事業勘定	3,050,000	3,003,000	47,000	1.57
	介護サービス事業勘定	1,150	1,150	0	0.00
	後期高齢者医療	619,000	605,000	14,000	2.31
	小 計	6,630,150	6,559,150	71,000	1.08
企 業 会 計	水 道 事 業	758,000	742,000	16,000	2.16
	温 泉 事 業	263,400	273,200	△9,800	△3.59
	下 水 道 事 業	1,453,900	1,451,000	2,900	0.20
	小 計	2,475,300	2,466,200	9,100	0.37
合 計	19,629,450	18,781,350	848,100	4.52	

※企業会計は、収益的支出と資本的支出の合算額を予算規模として表示しています。

議決補正予算

一般会計（第11号）

6億9,238万5千円の増額

歳入

- ・普通交付税の増額
- ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増額
- ・社会資本整備総合交付金の増額
- ・まちづくり寄附金の増額
- ・まちづくり基金繰入金の増額
- ・防災基金繰入金の減額

など

歳出

- ・まちづくり寄附金推進事業の増額
- ・財政調整基金積立金の増額
- ・まちづくり基金積立金の増額
- ・低所得世帯支援事業（物価高騰対策給付金）の増額
- ・道路新設改良事業の増額
- ・防災基金積立金の増額
- ・学校施設整備事業の増額

など

一般会計（第12号）

9万9千円の増額

歳出

- ・環境保全推進事業の増額

国民健康保険事業特別会計（第3号）

716万6千円の減額

歳入

- ・運営準備基金利子の増額
- ・一般会計繰入金の減額

歳出

- ・運営準備基金積立金の増額
- ・特定健康診査等事業費の減額
- ・予備費の減額

介護保険事業特別会計（第3号）

78万9千円の増額

歳入

- ・保険料の減額
- ・（国庫、県費）介護給付費負担金の増額
- ・（国庫、県費）地域支援事業交付金の減額
- ・介護保険災害臨時特例補助金の増額
- ・一般会計繰入金の減額 など

歳出

- ・総務費の減額
- ・介護給付費の増額
- ・介護予防・日常生活支援総合事業費の増額
- ・任意事業費の減額

後期高齢者医療特別会計（第2号）

854万3千円の減額

歳入

- ・保険基盤安定繰入金の減額

歳出

- ・後期高齢者医療広域連合納付金の減額

水道事業会計（第2号）

135万6千円の増額

収益的支出

- ・特別損失の増額

条例の改正

●湯河原町長寿健康祝金贈呈条例の制定について（議案第1号）

高齢化の進展に伴う長寿年齢に対する意識の変容等を踏まえ、長寿健康祝金の贈呈対象者及びその額を見直すため、条例を制定しました。

●湯河原町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について（議案第7号）

農地利用最適化推進委員の報酬を農業委員会委員と同額とするため、条例の一部を改正しました。

●湯河原町国民健康保険条例の一部改正について（議案第22号）

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、保険料の限度額及び軽減判定所得の算定方法等について、条例の一部を改正しました。

※紙面の都合上、提出議案を抜粋して掲載しています。

議員提出議案

●湯河原町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について（議員提出議案第1号）

情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律及び刑法等の一部を改正する法律が施行されることに伴い、条例の一部を改正しました。

決 議

●教育・保育の在り方調査特別委員会設置に関する決議（決議第1号）

保育及び教育に関する事項について、今後も就学前幼児、児童及び生徒数が減少していくことが予想される中、横断的かつ俯瞰的な調査が必要であるため、町立幼稚園・保育園・小中学校の質的向上に資する調査・検討を行う「教育・保育の在り方調査特別委員会」を設置しました。

代表質問

代表質問とは、「町政に関する所信表明演説」に対し、各会派を代表して質問するものです。
※紙面の都合により、質問した各議員が要約した原稿を作成し、掲載しています。



湯政研

山本俊明議員

Q持続可能な地域公共交通の確保についての考えをお聞かせください。

A持続可能な新たな公共交通の可能性につきましては、各種課題があり、具体的な方策が見いだせない状況であるものの、他自治体においては、当該自治体内を運行するバスなどの運転業務に携わる方を対象に、第二種運転免許取得の補助制度を設けている実例もあることから、本町におきましても、当該免許取得に対する支援制度の創設について検討しており、現在、バス事業者との打合せや他自治体の制度などを研究しております。

これら現状を踏まえ、短期的には既存路線の維持を最優先に事業者と協議を重ね、中長期的な課題として、持続可能な地域公共交通の確保を検討してまいりたいと考えております。

Q地域コミュニティの重要性の周知や区会への加入促進についての考えをお聞かせください。

A町民の皆様一人ひとりが、「ご家族を大切に、隣組を大切に、地域を大切に、多くのコミュニティをつくり、あらゆる場面に世代を超えて参画する。」というように、町民一人ひとりのお力により、「まち」を創っていくことが大事であると考えております。

これまで「広報ゆがわら」を初めとした各種媒体や転入者へ配布するチラシのほか、総合防災訓練や防災講演会などあらゆる場面を通じて、共助の重要性について発信してまいりました。

さらなる区会加入促進の推進については、加入によるメリットなどを改めて深掘りしていく必要があると考えており、各区長と課題整理や新たな取り組みを検討してまいりたいと考えております。

《その他の質問》

- ・ 宿泊データ分析システム
- ・ 地方創生統括官
- ・ 児童等の健康増進と通学路等安全対策
- ・ ごみ処理体制
- ・ 小学校給食無償化
- ・ 情報発信
- ・ ふるさと納税



協創会

土屋誠一議員

Q役場庁舎については、建て替えの必要性、すべての庁舎を更新する必要性、建設場所や機能面における他施設との複合化の検討など、様々な観点から検討が必要となります。

現時点において、役場庁舎のあり方を検討していく上での具体的な課題や進め方、方向性などについてお聞かせください。

A具体的な課題としましては、現庁舎の耐震化、更新及び長寿命化などの問題や建て替えの必要性、建設候補地の選定、機能及び庁舎整備の規模、他の公共施設などとの複合化の検討、庁舎の再整備にかかる財源など、数多くございます。

令和7年度は、令和8年度にかけてとなりますが、検討に必要な情報を収集及び整理し、現役場庁舎の課題の抽出を行うとともに、庁舎のあり方

についての基本理念・基本方針を定め、数多くの課題についての基本的な考え方を整理するため、基本構想の策定を進めてまいります。

なお、基本構想の策定を進めるに当たっては、学識経験者や各種団体の代表及び公募による委員で組織する「湯河原町新庁舎整備検討委員会」や、町議会において様々なご意見をいただきながら検討を進めるとともに、必要に応じて町民説明会やパブリックコメントを実施するなど、町民の皆様への理解や合意を得ながら、丁寧に進めてまいりたいと考えております。

《その他の質問》

- ・ (仮称) ゆがわら軽トラ市の開催について





新風会

貴田 太史 議員

Q 児童福祉・子育て支援では、「ゆがわらこどもまんなかプラン2024」に基づき、令和7年度から5年間「自然とやさしさの中ですべての子ども・若者が健やかに育つ町」の実現を目指すことを示していますが、5年間の中で本プランの成果をどのような方法で検証するのか、また「こども家庭センターの設置」など、未実施の事業に対してどのような事業展開をしていくのか、考えをお聞かせください。

A 事業ごとの進捗状況を毎年度「湯河原町子ども・子育て会議」に報告し、目標値に対する評価や検証を行います。また「こども家庭センター」については、国が目標とする令和8年度までの設置に向けて、こども支援課と保健センターで連携を図りながら進めてまいります。

Q プール施設の老朽化が進んでいる吉浜小学校の水泳授業に民間施設を利用するとのことですが、各小学校プールの老朽化が進んでいる状況を踏まえ、ここで民間施設を利用する試みについては賛同します。ただし、今後もし一部の自治体のように水泳授業を民間業者に委託する可能性がある場合、本町の教育に関して、さらなる研究や議論が必要だと考えます。授業の民間委託の可能性について、考えをお聞かせください。

A プール施設の老朽化が著しい吉浜小学校は、令和7年度から民間施設を利用した授業の実施を予定しています。授業自体を民間へ委託することについては、現在、英語の授業で実施している「小学校外国語活動推進業務委託」のように技術面をサポートするインストラクターの導入が考えられます。どのような形が望ましいのか、先行事例を研究するとともに教育委員会や学校の意見を聞きながら協議していきます。

＜その他の質問＞

・2050年カーボンニュートラルの実現に向けて

一般質問

一般質問とは、議員が本会議で、議長の許可を得て質問することです。

※紙面の都合により、質問した各議員が要約した原稿を作成し、掲載しています。



質問通告1

笠原 進 議員

①公共交通の課題について

Q 路線バス撤退や運転手不足が深刻化する中で、町の対応状況をお聞かせください。

A 事業者と協議を重ね、コミュニティバス化や新たな交通手段の研究を進めております。短期的には現状維持を優先し、中長期的な対策を検討しています。

Q 人材確保や利用促進に向けた支援策は？

A 現在、研究を重ねており、先進自治体の事例を参考に、今後制度設計をしていきたいと考えています。

Q ゆたぼん号のチラシは、QRコードで乗り場詳細を掲載していますが、表示方法が分かりづらく、利用者視点に立っていないとの声があります。今後、必要となる町民のためにも改善が必要ではありませんか。

A 乗り場案内のQRコードは、デジタルでも乗り

場を確認できるよう記載しておりますが、受け取り方に関して、ご指摘いただいた部分では、引き続き工夫する必要があると考えております。

Q ゆたぼん号のエリア拡大の可能性はありますか。

A 未運行エリアに対して、今年度アンケート調査を実施し、拡大についても検討していきたいと考えています。

②町の情報発信や広報活動の評価について

Q 町の公式SNSはフォロワーが少ない状況ですが、今後の展開をお教えてください。

A 広報ゆがわらだけでなく、区会回覧、ポスター掲示などで周知したいと考えています。

Q ロケツーリズムの露出増が地域の活性化に結びついているのか、疑問の声もあります。広告換算だけでなく他の指標も必要ではありませんか。

A 現在は、件数・実績などを積み上げている段階で、将来的には、観光消費額が換算の1つと考えております。





質問通告2

早乙女 智子議員

①子宮頸がん予防HPVワクチン接種及びHPV検診導入について

Q子宮頸がんはHPV（ヒトパピローマウイルス）の感染によって起こることが知られており、若い世代には平成25年からHPVワクチン接種が行われています。また、横浜市では、令和7年から30歳以上についてはHPV検診が始まりました。湯河原町ではどうなっていますか。

A湯河原町のHPVのワクチン接種率は20%程度です。引き続き広報を行っていきます。副反応などがあつた場合には、保健センターで速やかに対応します。新たに始まるHPV検診に関しては、小田原市など1市3町で足並みをそろえて導入す



ることになるため、湯河原町だけでは決められません。新たな制度が導入されれば、HPVウイルスが陰性であれば5年ごとの検診となるため、受診者負担も町の負担も軽くなります。

②移住政策について

Q人口減少に関して、町の安定的な存続のためには、何らかの対策を取ることが重要と考えますが、なかなか目に見えて結果が出ていないと見受けられます。駅前の第三の居場所などで移住促進事業が進められていますが、ホームページの分かりにくさ、町のホスピタリティのなさ、第三の居場所の担当者がいなかったり、閉まっていたりするなど、町外から来た方からどのように見えるかも気になります。

A駅前の居場所や多世代の居場所がカレンダー通りに開所していないことがありましたこととお詫びいたします。委託している事業者については、町としても指導してまいりたいと考えています。また、令和7年4月から専属の職員を配置して、より充実した移住促進を行ってまいります。



質問通告3

熊谷 照男議員

①保育士の職場環境について

Q保育士の方が仕事を家に持って帰っている場合、どのように管理職が把握し、対応していますか。

A持ち帰りの仕事はあると把握していますが、いつ、何の仕事をしているかは把握していません。

Q保育士の方が残業をした場合、管理職はきちんと時間外勤務の申請を指導されていますか。

A時間外勤務においては、担当課から園長会において指導をしており、各保育士にも伝えていきます。

Q保育士の方は保育に専念できる体制になっているのでしょうか。

A2月から書類業務等の軽減を図るために保育業務システムを本格的に導入しました。ただ、慢性的な保育士不足という現状で行事の準備や作業等で、業務の改善がなかなか進んでいない現状です。

② 町内の公共交通について

Q「ゆたぼん号」の現在の状況を踏まえ、運行エリアの見直しについてお考えはありますか。

A町民の高齢化や免許返納といった社会情勢の変化を踏まえ、改めてアンケート等を通じて住民の皆さまのご意見をいただき、検討していく必要があると考えております。

Q「ゆたぼん号」で病院、買い物などに行き、帰りはタクシーなどになります。タクシー補助券を出すことはできないのですか。

Aタクシー利用料の補助は、将来的な財政負担への圧迫が懸念され、持続可能な交通システムの構築を図ることが求められていることから、現時点においてタクシー券の配付は考えておりません。

Q二種免許取得者への補助制度について、展望と見解を聞かせて下さい。

A第二種運転免許取得に対する支援制度の創設について、前向きに検討しており、バス事業者や他の自治体の制度等を研究しております。





質問通告4

渡辺久子議員

①廃棄ごみの分別について

Q湯河原町美化センターにおいては令和7年10月からごみ焼却形態が変更になります。現在、湯河原町においてはプラスチック類を可燃ごみとして扱い続けていますがその理由をお聞かせください。

A焼却炉内の温度を安定的に保つことが、環境対策上重要で、プラスチックごみなどが可燃ごみの中に一定量含まれていることで、焼却炉内の温度を保つことが出来るためです。

Qごみ減量化に向けた取り組みを進めるか否か町長の判断をお聞きします。

A「プラスチックごみ」を含むごみの分別の統一に向け、調整を図っていくものとして、法律に基づく施策に取り組む必要があると認識しています。現在、湯河原町真鶴町衛生組合と連携して「プラスチックごみ」の分別、中間処理及び再商

品化の効率的な方法など今後の対応について検討しております。

②加齢性難聴者への補聴器購入補助について

Q補聴器購入補助制度について、県内の実施状況と補助額について把握されていますか。

A補助事業を実施する県内自治体数は、令和7年1月末現在6自治体で、その助成額は2万円から5万円を上限としていると承知しています。

Q今後の実施時期などを含めた制度導入への考えをお聞かせください。

A加齢性難聴は高齢者の日常生活を不便にするだけではなく、社会参加やコミュニケーションを困難にするなど、生活の質や心身機能の低下などを招く要因とされております。今後は補聴器相談医や認定補聴器技能者など関係者と連携を図りながら、補聴器購入費助成の導入を検討してまいりたいと考えております。



質問通告5

上田尚彦議員

①湯河原梅林について

Q近年の「梅の宴」の入園者数は、平成20年と比べ半数になりました。最近の入園者の声として、「全然咲いていない。」という声がありました。毎年、花付きが悪くなっているのは明らかで、さらに咲く花の数が減少していくことが懸念されますが、梅の養生対策はどのようにされていますか。



A梅園内の下草刈りを毎年5月と1月に実施するほか、施肥と剪定を年1回実施するなど、梅の木の養生に努めております。

Q過去の湯河原梅林の事例にありますように、町を挙げて植樹の実施や梅林を育むことを行う可能性に関して考えをお聞かせください。

A植替えが必要になったときは、過去の事例のように町を挙げて実施できるか、検討してまいりたいと考えております。

②農地の災害復旧について

令和6年台風第10号による豪雨災害は、湯河原町に甚大な被害をもたらしました。

Q町内で台風第10号により被災した農地は何か所ありましたか。

A通報を受けた農地は5か所です。

Q国の農地災害復旧事業を活用して復旧された農地は何か所ですか。

A当該事業を活用した農地はございません。

Q国の災害復旧事業に該当しない農地に対して、町独自の補助などの対応はされましたか。

A農地に限らず民地に対しては、ご自身で復旧していただくことが原則となります。

Q自然災害が原因で耕作をやめてしまうことが懸念されます。お考えをお聞かせください。

A農地巡回時に軟弱箇所指摘や対策の助言など、予防措置が可能であるか検討してまいりたいと存じます。



総務文教・福祉常任委員会

(2月28日開催)

<付託案件>

●湯河原町長寿健康祝金贈呈条例の制定について (議案第1号)

本会議に上程された議案第1号について、委員会に付託され、協議しました。

高齢化の進展に伴う長寿健康に対する意識の変容などを踏まえ、現行の77歳5,000円、88歳10,000円、100歳30,000円を100歳50,000円の祝金とする説明を受けました。

委員からは、高齢者に対する全体的な施策の推進について、100歳の年齢設定及び金額について、制度制定時からの平均寿命の伸び率について、条例制度制の検討経緯について、条例制定後の削減見込み額についてなどの質疑や意見があり、採決の結果、全員賛成で原案を可決すべきものと決定しました。

<案件>

●第2期湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プランの延長及び事業検証(令和5年度実績)について

町の総合戦略プランは、「国及び県の総合戦略を勘案し定める」とされていますが、国で新しい地方経済・生活環境創生本部を設置し、新たな地方創生の取り組みを推進し始めており、今後の国の方針を勘案して進める必要があります。また、本町の最上位計画である「ゆがわら2021プラン(総合計画)」の前期基本計画期間が令和8年3月で満了することから、双方の関連性を考慮し、両計画を一体的に進めることが効率的かつ有効と考え、本プランの計画を1年延長する説明を受けたほか、令和5年度の実績について説明を受けました。

委員からは、各課にわたる詳細な質問や意見がなされました。

●中学校給食について

今までの検討経緯、親子方式での給食開始に向けた検討経過について説明を受けました。また、県及び町委託設計事務所の現在の考えでは、親子方式での工事などの概算額が総額4億8千万円とな

り、給食実施方式について再検討をする必要があるとの説明を受けました。

委員からは、親子方式での整備を検討するに至った経緯について、自校式での検討の可能性について、遡及・是正工事の考え方について、県の見解が示される時期及び内容の変更が認められる可能性について、中学校給食実施に向けた町の考え方について、実施可能な時期について、センター方式における現状の概算額について、議会における教育施設や環境を検討する特別委員会設置の必要性についてなどの質問や意見があり、委員会としては、県の最終的な回答を待ちつつ、方式も踏まえた再検討を行い、生徒・児童数などを踏まえた町全体の教育施設や環境を調査・整備する新たな特別委員会を設置すべきとの結論に至りました。

※本件は、教育・保育の在り方調査特別委員会(4月11日開催)に続く(10ページへ)

(5月14日開催)

<案件>

●宿泊税の導入について

宿泊税導入の経過や湯河原町宿泊税検討委員会での結果を踏まえ、令和8年4月施行に向けた町の方向性を示した湯河原町宿泊税制度(案)やスケジュールの説明がありました。

環境・観光産業常任委員会

(2月25日開催)

<案件>

●インバウンド推進事業について

今までのインバウンドの課題をどのように解決して進めて行くのか、また、町としては官民連携で進めていきたいとの説明がありました。

委員からは、データの集計方法や蓄積したデータの活用、本町らしさをどのような形でインバウンドに活かしていくのかの質問があったほか、町民や今までのリピート客に負担のかからない体制の構築などの要望も出され、今後は、インバウンド推進協議会などを作り、より一層前向きな努力で押し進めていきたいとのことでした。

●湯河原町木造住宅耐震改修工事費等補助金交付要綱に係る補助対象等の拡充について

地震に強いまちづくりの推進ということで、補助の対象は建物を自ら所有し、かつ居住するものとの説明がありました。

委員からは、空き家対策としての耐震補助制度も検討して欲しいとの要望が出されました。また、空き店舗との併用の建物もあるので、検討して欲しいとの意見や広報の方法にも高齢者の多い土地柄なのでSNSだけでなく、さらなる工夫が必要との意見、簡易診断から一般診断への移行の手順の柔軟さについての要望もありました。

<報告事項>

●(仮称)ゆがわら軽トラ市実施計画(案)について

(仮称)ゆがわら軽トラ市とは、地域農業の発展や地産地消の促進を図り、少量多品種の柑橘系なども扱え、「かせげる農業」につなげる場所の提供を目的とする事業との説明がありました。

委員からは、「かせげる農業」との兼ね合いについての質問が多数出されたほか、現在行われている日曜観光朝市とのすみ分けや販売を行う場所の選定への疑問点、ターゲットは誰なのか、行政の関わり方は事務局としてなのか出店者が主体なのかなど、多くの意見が出され、さらなる検討をして再度報告をいただきたいと要望しました。

●ロケツーリズム推進事業について

令和2年度を第一段階としたロケツーリズム推進事業は、令和7～8年度はさらに発展させ、実績の活用、制作者向けPR、町内メイン舞台の話題作の誘致などを行いたいとの説明がありました。

委員からは、ロケツーリズム協議会の加盟による成果やロケ後のアンケートを含めた情報の蓄積に対する考えなどについて質問がありました。その他、ロケの問合せからの決定率に関する質問に対し、湯河原町のイメージダウンにつながるものは受けていない旨の説明がありました。

公の施設等整備調査特別委員会

(2月28日開催)

<報告事項>

●みやのうえ保育園整備事業(保護者説明会の結果)について

●地域福祉会館整備事業(鍛冶屋会館)について

鍛冶屋会館の整備に関するこれまでの経緯及び改修箇所調査結果の概要についての説明のほか、耐震補強等改修工事の検討と建替工事の可能性・必要性について検討する旨の説明がありました。



広域行政特別委員会

(3月6日開催)

<案件>

●令和6年度第3回湯河原町・真鶴町広域行政推進協議会提出案件について

令和7年度事業計画(案)・協議会予算(案)・共同処理事業等の事業費予算などについて説明がありました。

●小田原市・足柄下地区ごみ処理広域化について

小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町のごみ処理広域化の今後の取り組みとして、令和7年度に、人口やごみ排出量などに関する将来予測などの最新データを踏まえ、ごみ処理広域化に必要な施設の概要や規模などの検討を行い、1市3町のごみ処理広域化に向けた基本構想の作成に取り組むとの説明がありました。

(3月28日開催)

●令和6年度第4回湯河原町・真鶴町広域行政推進協議会提出案件について

令和5年6月から令和7年5月の真鶴聖苑負担金額について説明がありました。

教育・保育の在り方調査特別委員会

(4月11日開催)

<案件>

●中学校給食について

2月28日開催の総務文教・福祉常任委員会で提出された中学校給食について、県との協議の結果、当初想定されていた遡及工事が不要となり、工事の概算額が総額2億6,500万円となり、令和7年9月の給食開始を目指し、工事を進めたい旨の説明がありました。

4月臨時会

令和7年第2回湯河原町議会4月臨時会は、4月17日に開催されました。
この臨時会では、町側から、専決処分の承認1件、補正予算1件、合計2件を審議しました。

本会議議案



審議議案と結果

全会一致の議案

議案番号	議案名	結果	議決日
26	専決処分の承認について（湯河原町税条例の一部改正について）	承認	4/17
27	令和7年度湯河原町一般会計補正予算（第1号）	可決	4/17

議決補正予算

一般会計（第1号）

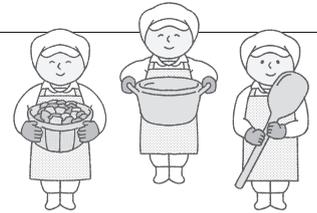
1億6,445万6千円の増額

歳入

- ・まちづくり基金繰入金の増額
- ・学校施設整備事業債の増額

歳出

- ・中学校給食施設等整備事業の増額



議会報告会



今回の報告会では、令和6年度に実施した総務文教・福祉常任委員会、環境・観光産業常任委員会の所管事務調査の実施結果を報告し、終了後には、4つのグループに分かれて町議会議員と参加者との意見交換会を行い、参加者の皆さんからたくさんのご意見をいただきました。

日時：令和7年3月27日（木）
18:00～19:30
会場：防災コミュニティセンター
参加者：18人
出席議員：14人

■意見交換会での一部意見

(1) 役場庁舎について

- ・建設費が高騰している今、建て替えるべきか疑問。建て替えと改修の比較検討をしてほしい。
- ・庁舎と他施設との複合化を検討してほしい。

(2) 宿泊税について

- ・宿泊業者の負担が大きすぎる。
- ・ゴミ処理などに使えないのはおかしい。

(3) その他

- ・公共交通について
- ・助産院について
- ・長寿祝金について
- ・図書館について
- ・読書活動について
- ・議会報告会について
- ・常任委員会所管事務調査（視察）について

議会報告会で配布された資料や報告事項に対するご質問・ご意見、意見交換でのご意見、アンケート結果など、詳しい内容は、町議会ホームページで公開しています。



議会報告会

立山町町政70周年記念式典に出席

2月10日(月)に開催された、立山町町政70周年記念式典に村瀬公大議長、山本俊明広域行政特別委員会委員長が出席しました。

富山県立山町と湯河原町は、双方が美しい自然と観光地を抱えていることと環境と歴史・文化など心通じるものがあることから、平成15年に友好親善提携を締結し、相互に文化交流を行っています。



熱海・箱根・湯河原広域行政推進協議会で視察へ

3月24日(月)・25日(火)に熱海・箱根・湯河原広域行政推進協議会として、委員の村瀬公大議長、善本真人副議長、山本俊明広域行政特別委員会委員長が宮城県気仙沼市へ訪問し、気仙沼DMOの取組みについて調査しました。

※DMOとは、観光地域づくり法人のことです。



開かれた議会を目指して

New 本会議議案、委員会資料公開

本会議及び委員会に提出された議案・資料の町議会ホームページでの公開を開始しました。

なお、公開は会議終了後となります。



本会議議案



委員会資料

●会議録公開

会議録は、会議の記録として、地方自治法において作成が義務づけられており、湯河原町議会では、ホームページ上でも公開しています。



会議録

●議会映像公開(録画)

【視聴方法】

- ・町議会ホームページのリンクから
- ・QRコード利用
- ・インターネット検索サイトから「湯河原町議会YouTube」で検索



YouTube

傍聴のご案内

本会議及び常任・特別委員会は、傍聴ができます。本会議は先着20名、委員会は先着6名です。

【受付】会議開始1時間前から

【場所】第1庁舎2階 議会事務局

【開催日程】

5月29日(木)	14:30	議会運営委員会
	終了後	教育・保育の在り方調査特別委員会
6月5日(木)	10:00	本会議(一般質問)
6日(金)	10:00	本会議(条例・補正)
10日(火)	10:00	環境・観光産業常任委員会
16日(月)	10:00	総務文教・福祉常任委員会
17日(火)	13:30	広域行政特別委員会
18日(水)	10:00	本会議(委員長報告)

※5月16日時点の予定のため、変更の可能性あります。最新の議会日程については、町議会ホームページでご確認ください。



議会日程

編集後記

梅の宴では、多くの観光客が湯河原へ来ていただき、梅の花、鳥のさえずり、自然の良さを感じて帰られたと思います。

また、小・中学校で卒業式や入学式があり、子どもたちは、夢と希望を持って新たな生活をスタートされました。

3月定例会においては、新年度予算を含む多くの内容がございました。引き続き、議会として、しっかり見守り、意見を出していきます。

「議会ゆがわら」を通して、住民の皆さまに分かりやすく、親しみやすい紙面になるように工夫していきたいと思っております。

(熊谷 照男 記)

議会だより編集委員会

委員長	石井 温	
副委員長	室伏寿美夫	
委員	笠原 進	上田 尚彦
	熊谷 照男	善本 真人